

## 会議記録

会議件名	平成27年度 第2回大東大須賀区域認定こども園化推進委員会
日時	平成28年1月27日（水）10：00から11：55
場所	全員協議会室
出席者	推進委員会委員 15名（5名欠席） 事務局 9名

### 会議の概要

#### 1 開会

#### 2 あいさつ 山本委員長より

12/13（日）、2会場でワークショップ、12/15（火）、現地視察が実施された。新たな驚きなどがあり、この委員会を活性化するために重要なことだったと思う。本日は限られた時間であるが、積極的な意見をお願いしたい。

#### 浅井副市長より

本日はお忙しいなか出席いただきありがとうございます。第1回目の委員会を受けてワークショップを2会場で開催し、大勢の方が集まってもらい色々な議論ができました。そして推進委員の理解を深めるために現地視察も実施し、小規模園である中幼稚園と大規模園であるすこやか幼保園をそれぞれ視察しました。勉強すべきことはたくさんありますが、制度、人の思い、不安があるならどう解消していくか等を議論していきたいです。このことが広く市民に伝わっていないので、なかでも若い世代の人たちに課題、認定こども園の意義を伝えていきたいと考えています。

さらに、第二次掛川市総合計画の中でも南部再編計画は大きな事業として位置付けられているため、着実に進めなければいけません。

また、このほど子育て総合案内サイト「かけっこ」を立ち上げました。特に若いお母さんたちに活用してもらいたいと思っています。本日は活発なご意見をお願いします。

#### 3 報告事項

- (1) 第1回推進委員会以降の進捗よく状況について  
資料1について事務局より説明

#### 質疑

委員長 せっかくの機会なのでワークショップや現地視察に参加していただいた委員から、一言ずつお願いしたい。

委員 視察に参加。自分は保育園に子どもを預けているので、幼稚園や幼保園は初めて見たので新鮮だった。幼保園は施設もきれいで、良い環境で過ごしていると感じた。小規模幼稚園は先生との関わりが濃いと感じた。どちらも良い印象であった。

委員 ワークショップでは、保護者に色々な不安や疑問があると感じた。今後、説明会等を設けることで保護者との距離は近くなると感じた。

視察では小規模園の良さを感じた。すこやかは色々な子どもとの関わりがあり、無理のない大規模園で良いと感じた。ただ、囑託の先生が多いと聞いた。今後施設を作っていく場合、正規職員が多くないと組織運営が大変ではないかと感じた。男性保育士が辞めてしまう実態も聞いたので、職員の体制も考えていかないと、よりよい教育・保育は難しいのではないかと感じた。他市で既に開園している施設も視察できれば良いと思う。

委員 ワークショップでは、保護者は疑問より不安が多いことがわかった。こども園に対して前向きになれるようなものが欲しいと思った。不安の確認で終わってしまった。

視察では、中幼稚園は自分の子どもが通園している園に雰囲気似ている。すこやかは、設備が

新しいことに驚いた。もっと忙しいかなと思ったがそうでもなかった。大規模園では自分の行動が他の子に影響を与えること等、集団生活で大切なことを学べるのだと感じた。

委員 ワークショップでは、質問や意見を言いやすい雰囲気良かった。わからないことが多いので、説明してもらえらる機会は多い方が良いと思った。

委員 他の委員の方が述べられた、まさにその通りというイメージだった。幼稚園は人数的な効率を考えるともう少し園児が多くても良いと思う。すこやかはその10倍。活発に楽しんでた。理想とする規模も必要なのかなと思った。メリット・デメリットのメリットをもっと説明しないといけない。保護者の意見を十分汲み取って善し悪しを前に出し、保護者に納得してもらえらるようにしないといけないと思った。

委員 視察参加。現実どこにどうなるかとなった時に、保護者からどんな意見が出るか心配。あと認定こども園になった時、保育士と幼稚園教諭が保育教諭という名称になるが、意識の違いがどうなるか。保育園より幼稚園の方が短時間保育なので、先生の時間に余裕があると思う人もいる。教える立場側がどう融合していくかも課題。

委員 視察参加。すこやかを視察できてとても良かった。大きな集団でどう連携しているのかと思ってたが、上手にシステム化されていた。たくさんの職員の目が子ども達を見ている。持ち場持ち場で子どもを見ながら情報交換しているという印象。職員同士が分担されているだけでなく、子どもの引き継ぎがうまくいっている。配慮事項も約束がなされている機能的な集団で、希望の持てる施設だと感じた。

委員 ワークショップ参加。同じグループのある保護者が「今の園に満足している」と発言されたことが印象的だった。満足している理由は、先生と距離が近く、色々話ができ安心できるからということであった。保護者との距離は大切であるから、大きくなった場合の不安を自分自身も感じていたが、システム化されていたという話を聞くと、メリットとして出していけると思った。

委員 視察参加。小規模園ならではの温かさ、大規模園の効率的、効果的、機能的なシステム、子ども同士のふれあいのたくさんある場面を見た。ワークショップは欠席だったが、皆さんの話を聞いて、ワークショップでの保護者の願いがどう還元されていくかという視点もあると、また一歩進むことができるのではないかと思った。

委員長 現地視察を受け入れた立場の委員からも、感想をお願いしたい。

委員 あのような視察対応は久しぶり。子どもたちはたくさんのお客様が来ることで、あいさつができるといった効果もあったかなと思う。子どもたちはそれ程生活も変わらず受入が出来ていたと思う。少しの客でも動じず、園の雰囲気も変わらずといった印象だった。当日は園長、副園長のみで対応したため、その場で聞くことができなかつた疑問については、後日問い合わせただければ回答する。

委員長 両方出席された委員の方もいるので、一言感想をお願いしたい。

委員 ワークショップは2会場参加。保護者の方は今いる園に満足している、これから作られるものに対して不安になっている。不安の1つに説明不足だからということがある。例えば認定こども園の「認定」の意味を十分理解ないまま参加していた。ここがわかれば不安は解消できるのではないか。先生がどうなるかという不安には、先生同士が仲良ければ良い園ができる。先生が多ければ目が届くというのは、メリットになる。1番の不安はどうなるのかということ。これについては、北部の幼保園ができていく過程でのすこやかの経験を生かす、そのような説明をする必要を感じた。

視察では、小規模園では確かに先生の目が届く。しかし大規模園にも言えることだと感じた。

委員長 出席された方から意見をいただいた。都合で出席できなかつた方も何人かいるが、今の意見等について何かあればお願いしたい。

特になし

#### 4 協議事項

##### (1) 大東大須賀区域認定こども園化の素案について

資料2について事務局より説明

## 質疑

- 委員長 質問、意見等があればお願いしたい。
- 委員 ワークショップの結果をホームページ等で示すとあったが、その素案が資料2なのか。それと、1ページ、2なぜ認定こども園化なのか(1)②の表現について理解できない。幼保一元化でなければ質の高い教育・保育はできない、と受け取ってしまう人もいるのではないか。
- 事務局 ワークショップの結果については、現在作成中。近々示せると思う。2(1)②については、より良い質の高い教育・保育ができるという意味でこのような表現とした。
- 委員長 結果を現在作成中で近々公表、ということであったが、その公開の方法だが市のホームページのみなのか。他の方法も検討しているのか。
- 事務局 まずは市のホームページ、それから各園や委員の方々に配布していきたいと考えている。それから先程回答した表現について、もっとわかりやすい表現にするよう検討し、直していきたい。また、今回のワークショップは南部地域の保護者対象に大東地区、大須賀地区各1ヶ所で開催した。今後、要望があれば随時このような形で開催し、情報提供を行い、疑問点の解消と理解が深まるように努めていきたい。
- 委員長 広報のやり方について、広報「かけがわ」のような広報誌での公開を行うか。市のホームページだけだと、毎日チェックしていれば公開したタイミングが把握できるが、そうでないと市民まで情報が届かないので、色々な方法での周知を検討して欲しい。
- 事務局 広報誌での公開についても検討する。「かけっこ」での公開も検討する。
- 委員 5園の構想のなかでの園児の数について、10年、20年先の見込みはどうか示して欲しい。それから1ページ、2なぜ認定こども園化なのか(1)④の表現について、家庭環境の差があることをここで載せるのはいかがだろうか。
- 事務局 地区ごとの将来人口推計については、現在試算中。再編については、作る時点で対象児が入園できなければいけない。将来減るから小さくて良いというわけにはいかない。現時点での人数で加味していくと、定員的にも規模的にも5園化が良いという素案としている。2つ目の表現については検討する。
- 委員 この資料がそのまま公開されるわけではないと思うが、例えば3ページ、3なぜ民営化なのか(2)②、保育料を心配される人がいると思うが、この書き方だと、保育料が上がるのか下がるのか、どのくらいになるのか、わからないので、表現を検討した方が良いと思う。
- 委員 これから順を追って作業していくには、まずは4園なのか5園なのか決めないと、相当時間がかかる。4園か5園か方針を出すべき。現実には多くの待機児童がいる、将来的な人口減少はともかく、保育料も含めて保護者が納得するような形で早い時期にデータを揃えて情報提供して、スピードアップを図って欲しい。
- 委員 園の再編にあたっては、将来的に人口が減っていく可能性も考慮しながら検討しないといけない。
- 委員長 先程、3(2)②についてご意見があり、別の委員から保育料について発言があった。事務局から回答をお願いしたい。
- 事務局 わかりにくい表現になってしまっている部分は、保育料が上がるのか下がるのかということを含め、わかりやすい表現にしていきたい。
- 委員 料金について、国で発行しているパンフレット「なるほどBOOK」の表のことではないのか。
- 事務局 その表は国が定めた上限額で、当市はそれより減額している。私立幼稚園は現在一律のところ、新制度に移行した園は来年度から応能負担となる。高額所得者は保育料が若干上がるが、中所得者以下は下がる見込み。保育園は5%程度上がる世帯が増えるが、近隣の磐田市、袋井市より低額。来年度以降の料金表は、広報「かけがわ」9月号でお知らせしたので、保護者の多くはご存じだと思う。
- 委員 3ページ、3なぜ民営化なのか(3)に、園の最適な運営主体を選択するとあるが、再編スケジュールでは、どこに位置付けられるのか。
- 事務局 運営主体はまだ決定していない。現在大東大須賀区域の保育園を運営している法人を候補に含めた中で協議して決めていく。少なくとも設計前、平成28～29年度には決めることになると思う。
- 委員 それでは、運営が決定した法人の意見を入れて設計がされていくのか
- 事務局 そうなる。

委員長 他に意見は。

事務局 4園か5園かという方針が早く決定すると次の検討に進めるので、そういった意見もお願いしたい。

委員 4園か5園かという問題について、地域性もあるので大東大須賀区域の皆さんが5園が良いということならば、5園が良いのだと思う。そこで、園が増えればお金もかかることが心配だったが、この試算をみると大丈夫かなと思う。ただ、国庫補助とあるが今後国庫補助がいつまであるかわからない。とにかく早く進めていかないと難しい。

皆さんがワークショップ等やられて不安を拾い出すということは、15年前に掛川区域で同じことをやっている。幼稚園と保育園が融合するとどうなるのかとか、小さい園は温かく大きい園は人の目がある等色々なメリット・デメリットがあるが、大きくて温かい園を目指して作ってあげれば良い。とにかく早く進めていって誰がどういう園を作って、子ども達をどういうふうに育てていこうというビジョンをしっかりと示せば、不安は解消すると思う。どなたかがリーダーシップを取ってどんどん進めていくということをお願いしたい。ここにいる皆さんもビジョンが見えないから不安になっているのだと思う。

先程、幼稚園と保育園では保育園の方が子どもを見る時間が長いから大変という意見もあったが、両方同じように大変である。例えば小学校の先生達が放課後何しているかという、次の日の授業の準備をしている。次の日の1時間のために先生達がどれだけ勉強しているか。掛川市の保育園は、概ね10時～2時までの時間は、幼稚園部も保育園部も質の高い教育を皆にあげようという考え方を一番大事にしている。教育は重要である。就業時間と同じ時間だけ子どもを預かっていると、教育の準備をする時間が取れない。そういう視点もある。幼保一元化の事例が市内にあるのだから、それを参考にしながらどんどん進めていって欲しい。

委員長 4園か5園か、費用はかかるかもしれないが、5園化の構想でいくのが良いと思う。この委員会はその決定権は持っていないが、委員の皆さんの意見を聞いていると、5園の方向性で進めていった方が良いと思う。資料3ページ、4なぜ5園化なのか(1)で4つの幼保園としてあったが、平成23年度の時点でも、議論は民営の幼保園ということに重点が置かれていて、何園にするかという数の問題はあまり突っ込んだ議論はしていない。「再編案を基本とした」と書いてあるので、この後の状況を鑑みれば5園化が現実的だと思う。この件に関してはある程度のところで区切りをつけてやっていくという方向性で良いと思う。

全体を通して意見があればお願いしたい。

委員 他の委員からも発言があったが、早く具体的な案を出してもらいたい。委員の方では順番等なかなか決められないと思うので、事務局の方でいつ最初のをやるのか位まで、出してもらえればと思う。と言うのもまだまだ地域にこの問題が浸透していない。おおぶち保育園は平成17年に幼保園にする前提で施設を建設した。今も幼稚園の空き教室がある。当時は地元の人も関心があり、いつ再編をやるのかと聞かれたが、最近では聞かれない。だから再編するというを示して欲しい。

それから説明ということで、最近特に国などはホームページに掲載し、1ヶ月くらい置いてパブリックコメントがなければ意見がないということで進めていく。出来れば小さい単位で説明会等開催してもらえればありがたい。それが無理なら保護者にだけでも説明会を設けて欲しい。

委員長 委員の皆さんの意見を前提に、次回からもう少し具体的な案に進んでいきたいと思う。全体像でこういう方向性でと、なるべく早い段階で出してもらえると、違った意味での議論ができるかと思う。今日は積極的なご意見、前半はワークショップや現地視察に出席された委員の生の声を聞くことができて良かった。知らないことが多いと推測で発言することになってしまう。事実をきちんと出していくことが重要になる。市民や保護者の皆さんに丁寧な説明をしていくことを念頭に置いておいて欲しい。貴重なご意見をありがとうございました。

5 その他連絡事項 事務局より 次回は第3回目を3月頃に開催したい。

あいさつ 浅井副市長より

ご意見、ご協議をありがとうございました。皆さんの意見が大変参考になっています。

6 閉会